



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 小林 成樹 (TEL) 03(3280)2151
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	33,948	1.0	5,553	26.3	5,820	24.4	3,758	507.2
29年3月期第1四半期	33,628	△4.7	4,396	△12.5	4,679	△14.4	618	△80.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,785百万円(28.4%) 29年3月期第1四半期 2,948百万円(△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	65.78	65.72
29年3月期第1四半期	10.74	10.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	187,249	119,724	63.2
29年3月期	186,954	119,069	62.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 118,262百万円 29年3月期 117,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	54.00	—	55.00	109.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,900	0.1	9,300	△4.5	9,500	△5.1	5,800	38.0	101.49
通期	141,200	0.4	20,800	0.5	21,300	△5.5	13,100	17.9	229.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期1Q	57,434,200株	29年3月期	57,434,200株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	286,068株	29年3月期	303,168株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	57,131,596株	29年3月期1Q	57,631,115株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、米国の政策動向や欧州の政治情勢への懸念ならびに地政学的リスクの高まりなど、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として漸減傾向で推移しており、また、カラオケボックス市場における大手事業者間の競争は激しさを増しておりますが、エルダー市場の堅調な拡大もあり、市場規模は横ばいで推移しております。

この様ななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第1四半期の売上高は33,948百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は5,553百万円(同26.3%増)、経常利益は5,820百万円(同24.4%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別損益が改善したことにより、3,758百万円(同507.2%増)となりました。なお、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となっております。

	(百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	33,628	33,948	320	1.0%
営業利益	4,396	5,553	1,156	26.3%
経常利益	4,679	5,820	1,140	24.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	618	3,758	3,139	507.2%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、機器賃貸のウェイトを高めた拡販を継続し、カラオケ機器稼働台数の増加による安定収益の拡大に努めました。また、成長分野であるエルダー市場においては、民間施設に加え自治体施設等への導入を強化するなど、拡販に努めてまいりました。

以上の結果、機器賃貸収入および情報提供料収入は増加したものの、商製品販売が減少したことにより、売上高は前年同期比0.2%の減収となりました。利益面におきましては、安定的な収益基盤として注力している機器賃貸収入および情報提供料収入の増加と、昨年計上した「平成28年熊本地震」に伴う復旧支援費用や営業資産の買取りコストなどの一時費用が減少したことにより、営業利益は前年同期比20.7%の増加となりました。

	(百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	16,407	16,366	△40	△0.2%
営業利益	3,638	4,391	752	20.7%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、提供するサービスの品質向上に向けた人材確保と教育制度の充実による人材教育の強化に努めるほか、店舗リニューアルや既存業態のブラッシュアップなどに取り組み、集客力の向上に注力いたしました。また、6月には首都圏を中心に「カラオケマック」40店舗をチェーン展開する株式会社Airsideの全株式を取得し子会社化しております。

以上の結果、既存店の売上が好調に推移したことから、売上高は前年同期比2.9%の増加、営業利益におきましては、前年同期比22.3%の増加となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	13,270	13,658	388	2.9%
営業利益	1,294	1,583	288	22.3%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、業務用通信カラオケ事業をはじめとしたグループネットワークの活用、連携強化による相乗効果と業務の効率化に注力いたしました。また、積極的に新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めてまいりましたが、事業環境は依然厳しい状況で推移しております。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,115	1,938	△176	△8.3%
営業利益	7	△0	△7	—

(その他)

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移いたしました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	1,835	1,984	149	8.1%
営業利益	373	377	3	1.0%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し、187,249百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が6,306百万円及び受取手形及び売掛金が1,557百万円それぞれ減少し、その他に含まれる前払費用が1,760百万円増加しております。

固定資産では、カラオケルーム及び飲食店舗設備が1,437百万円、有形固定資産のその他に含まれる建物及び構築物が702百万円、建設仮勘定が510百万円及びのれんが3,509百万円それぞれ増加しております。なお、のれんの増加につきましては、株式会社Airsideの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ359百万円減少し、67,525百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債の短期借入金が656百万円増加し、未払法人税等が1,156百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ654百万円増加し、119,724百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3,758百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,142百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,019	55,713
受取手形及び売掛金	6,792	5,234
たな卸資産	6,158	6,178
その他	5,884	7,578
貸倒引当金	△181	△162
流動資産合計	80,673	74,542
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	10,708	10,737
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	18,456	19,893
土地	36,714	36,714
その他(純額)	7,273	8,489
有形固定資産合計	73,153	75,834
無形固定資産		
のれん	1,321	4,831
その他	5,807	5,785
無形固定資産合計	7,129	10,617
投資その他の資産		
投資有価証券	4,959	4,967
敷金及び保証金	14,267	14,463
その他	6,808	6,866
貸倒引当金	△37	△41
投資その他の資産合計	25,998	26,255
固定資産合計	106,280	112,707
資産合計	186,954	187,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,343	3,263
短期借入金	14,163	14,819
1年内償還予定の社債	3,500	3,500
未払法人税等	3,206	2,049
賞与引当金	1,096	583
その他	12,881	13,675
流動負債合計	38,191	37,891
固定負債		
社債	6,500	6,500
長期借入金	13,268	13,191
役員退職慰労引当金	1,053	918
退職給付に係る負債	5,775	5,825
その他	3,096	3,198
固定負債合計	29,693	29,634
負債合計	67,884	67,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,003	4,003
利益剰余金	102,649	103,249
自己株式	△1,368	△1,291
株主資本合計	117,634	118,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,033	1,044
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	80	54
退職給付に係る調整累計額	△440	△414
その他の包括利益累計額合計	△60	△49
新株予約権	178	140
非支配株主持分	1,316	1,320
純資産合計	119,069	119,724
負債純資産合計	186,954	187,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	33,628	33,948
売上原価	20,764	20,216
売上総利益	12,864	13,731
販売費及び一般管理費	8,467	8,178
営業利益	4,396	5,553
営業外収益		
受取利息	165	9
受取協賛金	74	77
為替差益	—	42
その他	225	257
営業外収益合計	465	387
営業外費用		
支払利息	83	81
為替差損	65	—
その他	34	39
営業外費用合計	182	120
経常利益	4,679	5,820
特別利益		
固定資産売却益	4	63
その他	0	—
特別利益合計	4	63
特別損失		
固定資産処分損	56	36
減損損失	—	117
投資有価証券評価損	3,304	—
その他	5	—
特別損失合計	3,365	154
税金等調整前四半期純利益	1,318	5,729
法人税、住民税及び事業税	2,022	2,056
法人税等調整額	△1,343	△100
法人税等合計	678	1,955
四半期純利益	639	3,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	618	3,758

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	639	3,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,375	11
為替換算調整勘定	△92	△25
退職給付に係る調整額	26	25
その他の包括利益合計	2,309	11
四半期包括利益	2,948	3,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,928	3,769
非支配株主に係る四半期包括利益	20	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	16,407	13,270	2,115	31,792	1,835	33,628	—	33,628
セグメント利益 (営業利益)	3,638	1,294	7	4,941	373	5,314	△918	4,396

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△918百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	16,366	13,658	1,938	31,963	1,984	33,948	—	33,948
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は 営業損失(△))	4,391	1,583	△0	5,974	377	6,351	△798	5,553

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△798百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な異動)

「カラオケ・飲食店舗事業」において、株式会社Airsideの全株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、3,603百万円であります。